



038PRESS

vol. 17 夏号

宮町のイベントキャラクター
みやち

お み や プ レ ス



見上げてごらん夜の星を・宮町

今季の特集
P2~P3

困ったとき、
相談できる人がいます
ようこそ!お宮町へ!第2弾

- P4…… 第5回お宮町グラフィティ／東六番丁小学校・郷土館
- P5…… 第17回お宮町なるほどツアー
- P6…… NEWS&TOPICS (地域情報)
- P7…… 東京余話 vol.11 / 第17回教えて浄園房さん!
- P8…… 学校情報 / Omiyamachi ほっとすぺーす No.04 / 編集後記



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](#) [検索](#)

ブログ [おみやプレスのブログ](#) [検索](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

困ったとき、 相談できる人がいます

ようこそ！お宮町へ！ 第2弾



青山 あさこ 晨子さん

東六地区民生委員児童委員協議会会長として、地域の皆さんの一番身近な相談役を果たしています。高齢者の介護、医療・健康や生活上の相談に乗り、必要に応じて専門機関等の紹介を行っています。
Tel 022-222-5661

阿部 恵子さん

東六赤十字奉仕団団長として、人道博愛の精神に基き、救命講習や献血への協力等の普及活動を行っています。

Tel 022-223-0428



内池 えいこ 榮子さん

東六地区社会福祉協議会会長として、安心して暮らせる福祉のまちづくりと地域住民の立場に立った活動を行っています。

Tel 022-222-0008

菊池 ゆう子さん

車通北部町内会会長として、諸団体の会合出席や、ごみ置き場の見守り、街灯点検など地域の潤滑油としての活動を行っています。

Tel 022-261-8370



この春から宮町界限で暮らし始めた人も少なくないことでしょう。とりわけ今年は小田原復興公営住宅が完成、東日本大震災の被災者も新たな住民となりました。転入された皆さん、ここでの生活はいかがですか？挨拶を交わす人がいますか？気軽に相談できる人がいれば心強いと思いませんか？

そこで、幅広く地域を支える活動を行っている4人を紹介します。社会福祉関係のボランティア団体の代表として、子どもや高齢者の見守りなどに豊かな経験と知識を持つ方々です。いざと言うとき支えになり、問題解決の糸口を見つけてくれるはずです。

阿部さんや菊池さんは「古くからここに住む住民が多く、私たちの活動に理解がある地域。ただ、増え続ける集合住宅では人の出入りが激しい。住民の交流の場をいかに築くかに苦心する」と言います。青山さんと内池さんは「高齢者の孤立防止を念頭に、いきいきサロンを定期的に開催し交流の場を設けている。他にも子育て中の方のサロンを開いている」「2ヶ月に1度、80歳以上の一人暮らし、二人暮らしの家庭を訪問し、安否確認しながらお弁当を届けている」と話します。また、復興公営住宅の入居者にも思いを寄せています。

4人はいずれも社会福祉協議会委員や民生委員児童委員を兼務しています。地域の57人の社会福祉協議会委員と協力しながら地域の課題解決に奮闘しています。

「どんなことでも気軽に相談してください。秘密は守ります」とのことでした。



過去の相談事例から

実家で一人暮らしをしている母親が認知症のようだ。介護保険の手続きをした

母親が住む市町村役場の高齢者総合相談窓口と地域包括支援センターを教えた

アパートを借りる時保証人になつてくれた知人が亡くなり、保証人がいないため契約更新できず困っている。

保健福祉課と連携して対応した

子どもが虐待されているようだ

児童相談所と連絡を取り合い見守りを行った

40歳の息子が引きこもりの状態だ。外に出るようにしたいがきっかけが欲しい

何度も交流会に誘った

ゴミ出しのルールが分からない外国人がいる

町内会長と相談し、外国語の立て札を集積場に設置した
急に車椅子が必要になったが、貸してくれるところはないか
貸し出し用の車椅子(無料)がある

町内会長に申し込むことを教えた

町内の道路にある街灯が点かないが、誰に連絡したらよいか
分からない

町内会長に話をするよう教えた

公園などで、野良猫に餌をやる人がいる

アニマル仙台と区民生活課を教えた

花京院 地域包括 支援センター

地域包括支援センターは各市町村に設置され、仙台市では50カ所開設しています。私たちは五城中学校区域を担当し、ご高齢の方が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう介護・保健・福祉サービス、介護予防や生活のご相談に対応しています。宮町2丁目に事務所を構えて早9年。介護予防教室には多くの方に参加頂けるようになりました。認知症に関する講話や介護者交流会も適宜開催しています。お気軽にお問合せ下さい。



困った時の相談先(主に高齢者の介護)

花京院地域包括支援センター

〒980-0004 宮城県仙台市青葉区宮町二丁目2番6号 アルデール宮町101号
TEL:022-716-5390 FAX:022-263-5889

民生委員児童委員協議会とは

地域住民の実態を把握し、住民が抱える問題について相談にのり、社会福祉の制度やサービスについて情報を提供し、必要に応じて関係機関との橋渡し役をします。また乳幼児とその保護者の孤立防止のための「子育てサロン」実施のほか、高齢者や障害者、乳幼児への見守り活動に取り組んでいます。

社会福祉協議会とは

地域住民はもとより、社会福祉、保健、医療、教育など関係機関が連携し、誰もが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」実現を目指した様々な活動を行っています。

第5回お宮町グラフィティ

東六番丁小学校・郷土館

地域と共に同じ時を刻んできた学校ー。

そう感じさせる空間が仙台市立東六番丁小学校（小野順校長）の中にはある。それは「郷土館」と名付けられた教室2つ分ほどの広さの資料室である。古い写真や資料、古い農機具や電化製品などが今も大切に保管されている。表面を覆っている埃は、その時代の空気を今に伝え、学校と地域の変遷を想起させる。残念ながら郷土館は一般開放していない。先ごろ、同小の許しを得て編集委員が中に入り、内部を見学した。

ガラガラガラ。木製の白い扉を開けると、どこかの博物館で見掛けた昔の暮らしを



支えた生活用品が目に入る。真空管式のラジオやテレビ、柱時計に扇風機、写真機、石炭アイロン……まだまだある。紙面の都合ですべてを紹介できないのが残念である。どれくらいの年月をこの中で過ごしたのだろう。どれも表面にほこりを纏（まと）っていて、色あせて茶色に変色している。だが、どれも人びとの心を温め笑顔を作ってきた主人公たち。ひっそりと鎮座している様からは誇らしささえ感じる。

さらに進み目に付くのは鍬や千歯（せん）こぎなどといったかつて稲作に使われていた農耕具。それらを見て記者はふと考えた。現在の宮町地区は商業施設や住宅が並ぶ街だが、そう遠くない昔、この辺りには田畑が広がり農業を生業（なりわい）にする人が少なくなかったのだろう。

それにしても、どんないきさつで農機具や生活用品などがここに運ばれてきたのだろう。ひよつとしたら地域の暮らしや文化だったり、産業などに目を凝らしてほしいと地域の人たちが持ち込んだのだのかも知れない。

その可能性は高い。東六番丁小は明治6年に開校し、市内でも屈指の歴史を持つ学校。それゆえ学校に対する思い入れが強い住民も多いからだ。

同小同窓会の今泉清二会長（昭和23年卒）は「東六小学校の戦前、戦後を通しての貴重な資料や生活用品がたくさん残されている」と説明する。「多くの人に見てもらおう機会を作るのも同窓生としての大切な役割だと思う」と力を込める。



60年前の五中生

大いに語る

「開校当時を振り返って」

「郷土館」の資料に時空を越える力があるように、旧友との語らいにも過去を蘇らせる力がある。昭和22年4月入学の、五城中学校1期生13名が、母校の図書室に集まり同期会を開いた。

「昭和22年に入学したころは五城ではなく第五中学校だった」「校舎がなかった。東六小学校に間借りしていて、空襲で校舎が焼けた常盤木学園も入っていたから、窮屈な思いをした」「教室が足りず、午前と午後、二部交代で授業を受けた」「教科書はなく、先生がガリ版で手作りした」「校歌や校章、校則もなかった」「私服に下駄、雨が降ったら裸足で登校した」など、紅顔の中学生に戻り、思い出話に花を咲かせた。

また、出席者の一人から「物のない時代で大変だったが、勉強はした。五城中生ということに誇りを持ち、充実した生活を送って欲しい」と在校生にメッセージがあった。



第17回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは宮町商店街のまん中ほどに位置する、個性ある3店舗を巡りました。様々なお店と出会うたびに、宮町商店街の懐の広さを感じます。読者の皆さんもおひざ元の宮町に出かけてみませんか？



椅子や小物、和筆筒も充実

家具の二郷屋

創業 88 年の老舗家具店。70 年前に三本木から移転して宮町に店舗を構え、間口 2 間の店舗からスタートして、徐々に拡張してきました。鶴ヶ谷、旭ヶ丘、南光台など新興住宅地の開発が進んだ頃は、家具も飛ぶように売れたそうです。「当時は田丸さんをはじめ、宮町に 4 軒ほどあった家具店も現在は姿を消してしまっただ。寂しいねえ」と二郷好悦社長は話してくれました。今は住宅事情もあり、大きな家具よりも椅子や小物が売れ筋だとか。和筆筒の品揃えも充実しています。更に、値段も交渉次第。お気に入りの家具を見つけて、値切ってみるのも楽しそうです。

営 9:30 ~ 18:30 休 毎週木曜日 住 青葉区宮町 3-6-5
TEL 022-223-7987 HP <http://omiyamachi.com/>



店主は、パンクロッカー

小田原五丁目ホームラン食堂

オープン は 2 年前の 3 月。知人の情報で現在の店を見つけ、宮町での開業を決めたそうです。「お客様はこの周辺の方が多いですね。アットホームな雰囲気に気に入っていただいているようで、お子様連れも多いです」と店主の日下さん。メニューも定食類から一品料理まで充実しています。おススメは秘伝のタレで作る焼肉定食、豚焼定食 (880 円) や特製カレーライス (650 円) など。夜のおひとり様に人気の生ビールセット、ハイボールセット (1,000 円) も大人気です。マンガ本も充実しているので、軽くリフレッシュして帰るお客様も多いとのこと。

営 11:30 ~ 15:00、18:00 ~ 21:00 休 毎週水曜日 第 1、3、5 火曜日
住 青葉区宮町 5-3-21 TEL 022-797-3781 HP <http://omiyamachi.com/>

仙台のパンクロックの草分け、日下さん



「038 プレスを見た」で
1 会計 2 品以上で
100 円引き
有効期限：
平成 27 年 7 月 31 日 (金)



「笑顔」と「元気」を届けるヘアーサロン

シローの店宮町店

創業 40 周年を迎えたヘアーサロン・シローの店は、10 年前に高松通りから宮町に移りました。ガラス張りのビルの 1、2 階は美容室、3 階はエステと着付け (貸衣裳) のフロアとなっています。「お客様からイメージをお聞きし、デザイン画にしてヘアスタイルを提案しています。お客様の笑顔をパワーに、技術を磨いています」と店長の丹野さん。きめ細かなカウンセリングに加え、肌や髪の手入れに関する助言を受けられるのも魅力です。

大切な日のための着付けは、休日・早朝を問わず受け付けるとのことでした。

営 10:00 ~ 19:00 (土日は 9:00 ~) 休 月曜日 第 2 日曜日 第 3 火曜日
住 青葉区宮町 3-9-1-1 オンナビル TEL 022-265-4850
HP <http://www.shiro-no-mise.co.jp>



デザイン画を基にヘアスタイルを決めていきます。

次回のご案内

今回は右の 3 店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、または FAX でお申込みください。

- ①時計と宝石のたちばな
- ②花と陶器の店 メープル
- ③中華うまいっしょ

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日時 平成 27 年 7 月 11 日 (土) 15:00 ~
集合場所 15:00 ホテル白萩前集合
参加費 1,000 円

038 プレスの活動が広がりました！

お！宮町地域情報編集局では、106 プレスへの協力のほか、他地域との交流も進めており、宮城野区中央市民センターとは、038 プレスのノウハウの提供により、まちづくりを身近に感じて頂けるよう支援、福島県伊達市の地域おこし支援隊への協力では、地域間交流の促進を図り、相互の活動の情報交換をしてまいります。

宮城野区中央市民センターへの協力

平成 27 年度、宮城野区中央市民センターの公開講座の監修をする事となりました。038 プレスの編集部員が、お宮町地域情報編集局の設立の趣旨や、ノウハウを伝授する事で、宮城野区の 20 代から 30 代の皆様の、まちづくりへの参画意識喚起と推進を図ります。

福島県伊達市の地域おこし支援隊への協力

～地域の情報や魅力を伝える 038 プレスの活動が、福島県に広がっています～

伊達家発祥の地、福島県伊達市の魅力を伝えたい！

福島県伊達市の地域おこし支援員小林さんと笈川さんが編集会議に参加しました。福島県の地域おこし支援員は、復興の担い手として県外から移住した若者で構成されており現在 30 程度、うち 7 名が伊達市にいます。038 プレスの取り組みを参考に、伊達市の魅力を積極的に発信したいとのことでした。そんなお二人に伊達市の魅力を聞きました。

伊達政宗公のルーツ…歴史あふれる街

文治 5 年 (1189 年)、源頼朝の奥州征伐で戦功を上げ伊達郡を賜った中村常陸入道念西が、伊達を名乗ったのが始まりです。初代朝宗公が現在の伊達市保原町高子に城館を構え、以後天文 17 年 (1548 年) 15 代晴宗公が米沢に居城を移すまでの 360 余年、この地を拠点に伊達家は勢力を拡大します。17 代政宗公 (独眼竜政宗) が初陣の戦勝祈願を行った梁川八幡神社なども残されています。



丸森町のすぐ隣…自然あふれる街、美味しい果物の宝庫

人口約 64,000 人、福島県の北部、仙台市内から車で 1 時間余りと近いです。東に阿武隈山系の霊山、西には吾妻連峰、北には蔵王等の山々が遠望できる福島盆地の中に位置しています。盆地特有の寒暖の差が、果実を甘く美味しくします。桃、りんご、柿、ぶどう、いちごなど美味しい果物の宝庫です。

038 プレス編集局は、伊達市地域おこし支援員と連携し福島復興を応援します。

東六夏まつり 告知 今年も開催！夏まつり！

日 時 平成 27 年 **8 月 22 日 (土)** 雨天の場合は、当日、体育館で開催
午後 5 時～午後 8 時
開催場所 仙台市立東六番丁小学校 校庭
主 催 東六地区連合町内会 東六夏まつり実行委員会

明るい地域社会のために！

東六小学校で 5～6 年生を対象に、夏休み前の過ごし方や、明るい地域にするためには！という講演会を開催します。

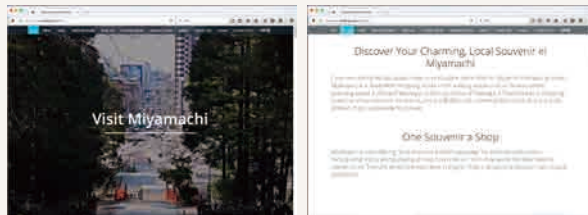
日 時 平成 27 年 **7 月 7 日 (火)**
午前 10 時 50 分～午前 11 時 30 分【3 校時目】
開催場所 仙台市立東六番丁小学校 体育館
主 催 仙台市青葉区・社会を明るくする運動推進委員会
東六地区社会を明るくする運動推進委員会

NEWS & TOPICS 地域情報

宮町商店街振興組合からのお知らせ

宮町商店街振興組合・英語版ウェブサイト

宮町商店街振興組合では、宮町にお住まいの外国の方々や観光で来られた方々にも是非、宮町でお買い物をして頂ければと英語版ウェブサイトを立ち上げました。地元の皆さんにもご覧頂けると嬉しいです。HP “お宮町ドットコム” から入れます。
<http://miyamachi.strikingly.com/>



杜の都プレミアム商品券は、宮町商店街で使おう！

商品券の販売はみやぎ生協や郵便局などにて

7 月 11 日 (土) 商品券販売、利用開始

12 月 31 日 (木) 商品券利用期間終了

- ① 千円券 12 枚綴りの商品券を 1 セット 1 万円で販売します。
(1 セットにつきプレミアム分は 2 千円が加算されます)。
- ② 1 セット千円券 12 枚のうち、半数の 6 枚は中小店舗専用券とし、残りの 6 枚は大型店でも使用できる共通券となります。
- ③ 商品券の購入限度は一人あたり 3 セットまで。

106 プレス 毎日小学生新聞全国版に紹介

「総合的な学習の時間」の中で東六小 6 年生が昨年度末に作成し、地域に回覧された「106 プレス」が全国紙『毎日小学生新聞』1・2 面に大々的に紹介されました。

地域とのつながりを大切にしたい先輩方の思いを受け継ぎ、038 プレスを手本として 5 年生の終わりに全員で手掛けた 106 プレスには、東照宮や宮町のお店、町内会のことなど独自で調査した内容がまとめられています。

全国に紹介されたことで子どもたちの社会性や郷土愛もさらに深まり、どちらの新聞も宝物になったそうです。



人馬一体

「人馬一体」とは、馬と騎手との連携のたくみさを言う。その姿には息を呑む美しさがある。

先月、東京・世田谷のJRA馬事公苑に馬術を見に行った。住宅地にある広大な緑地は一般開放され、市民の憩いの場にもなっている。50年前に続き、2020年東京五輪の馬術競技会場にも決まった「馬術の聖地」だ。

芝が敷き詰められた広場に障害物が幾つも置かれ、人馬が次々と飛び越えていく。2段近いバーを華麗に越えるものもあれば、低いのに跳躍寸前で尻込みして急停止したり、横にそれてしまふものもある。

そこで、馬事公苑の総務課長、寺西浩さんに尋ねてみた。「馬がジャンプする時、騎手は何かするんですか。それとも馬が勝手に飛ぶんですか？」

答えは「騎手の役割は馬の邪魔をしないこと」だった。「重心を二つにしてはだめ。一つにすることです」。それは消極的な意味ではなく、「馬の力を引き出すために、何もしないことができる技術」とでも言えるもののようにだった。

もちろん、競技に勝つには馬の能力や気性は大きい。跳躍へと導くのは騎手であっても、踏み切る決断をするのは



鮮やかな緑の中、次々と障害物を飛び越えていく

は馬だから。乗った馬が、障害物の前でひるみ、「おっと」という感じで止まってしまえば、人馬一体の見せ場も失われてしまう。でも、そんな場面でも「お前なりに頑張ったな」とでも言うように、騎手が馬の背をぽんぽんとたたき、フィードを去っていく光景を目にすると、そこにも人馬一体があるように思えた。

馬の力量を知り、導きつつ邪魔をしない。人と馬とに信頼が芽生え、次へのステップにつながっていく。夕方までの半日、目前で繰り広げられる躍動を見ながら、「何だ人間の教育と同じじゃないか」と目から鱗が落ちた。

JRA馬事公苑は東急田園都市線の桜新町駅から徒歩約15分。東京駅から桜新町駅まで渋谷経由で30〜40分。

第17回



パワースポット

ねーねー浄園房さん、私達の住む街に、徳川三代将軍の奥様のお墓があり、パワースポットだと聞きました。

ほうほう！そもそも、徳川孝子様とは、3人もおるんじやあ。

お一人目は徳川三代将軍、家光公のご正室、徳川孝子様は、鷹司家からお輿入れされたお姫様（1602年〜1674年）。お二人目は宇和島伊達の伊達宗公のご後室、徳川孝子様（1874年〜1960年）。そして、幕末の仙台領主十三代慶邦公（後室、徳川（水戸中納言）斎昭公のご息女で、徳川十五代、最後の将軍慶喜公の妹君の徳川孝子様（1841年〜1869年）。

三人とも全くの別人なんじや。徳川幕府第三代将軍徳川家光公のご正室、徳川孝子様は、初期幕府の成立期にあつて、大奥の成立とともに不遇にあつたという話もあるが、そのお方



の話と、全く別人である仙台領主の奥様は時代も場所も、葬り先も全く違うんじや。

へーそうなんだあ！



小田原の与兵衛沼の丘陵、南側斜面に松林があり、ここに幕末の頃、登米伊達家の別荘「天遊館」があつた。ここは宮城野の北に位置し、玉田横野を越して仙臺の城下と、その先に茂ヶ崎を一望出来る景勝の地と言われた。伊達十三代領主慶邦公のご夫人、八代姫（徳川孝子様）は、慶応二年秋、天遊館に遊び、大変気に入り、度々訪れたというの。慶邦公から登米伊達家に所望して郷六御殿と交換したという記録もある。

八代姫は明治二年に29歳で惜しくも亡くなり、気に入っていた天遊館のある小田原の松林の山を音読みし「祥麟山」と称し、高松の森の黄葉宗、萬壽寺に霊廟を建立し葬られた。祥麟山廟所は水戸徳川家にならい、仙台唯一の儒礼による廟所として残された。

その後、廃仏毀釈（※）のため、一大伽藍を要した萬壽寺の廟は破却と同時に寺域も失い荒廃した。伊達家の墓所は経ヶ峯（瑞鳳殿・感仙殿・善應殿）茂ヶ崎（無尽灯廟・寶華林廟）は知られておるが、祥麟山廟所は知る人も少ないんじや。

徳川孝子様の祥麟山廟所はその後に「二の森墓所」と称される現在の与兵衛沼のため

とに他の従者の墓とともに1959年頃に改葬され、東日本大震災で二の森墓所も被災、その土地は地盤に不安があるため現地復旧を断念し、大年寺山墓所の復旧に合わせ、その一角に改葬された。現在は手厚く、四代以降の伊達家の墓所とともに大年寺と伊達家の庇護の元にある。

浄園房さん、仙台の徳川孝子様は安らかに眠りなんですね！



二の森墓所は改葬後に管理者も無く荒れて見えたために、負のパワースポットとして流布されていたと聞くが、全く根拠のない間違った情報を基に、謂れの無い作り話なんじや！それに他家のご先祖様の墓所の跡を、面白おかしく遊んだり穢してはならんぞ！

※廃仏毀釈とは、尊王や勤皇と結びついた水戸学や後期国学の影響を受け、水戸徳川家ほかで幕末に起こった仏教弾圧。明治新政府が発した神仏分離令によって激化された。各地の伽藍の宝物や仏像が破壊、喪失した。

出典：『要説宮城の郷土誌（続）』仙台市民図書館編より

文・取材／千葉富士男
イラスト／がんじー

学校行事予定（2015年7～9月） *なお、2015年6月上旬での予定のため、変更になる可能性もあります。ご了承下さい。

◆東六番丁小学校	
7月15日（水）	わかなまつり（児童会祭り）
8月22日（土）	東六夏まつり
9月16日（水）	陸上記録会（6年）

◆五城中学校	
7月14日（火）	校内合唱コンクール（広瀬文化センター）
9月5日（土）	五城祭

◆北六番丁小学校	
7月15日（水）	エコハッピー祭り（児童会行事）
7月18日（土）～19日（日）	学校に泊まろう！（北六小おやじの会主催）
9月16日（水）	陸上記録会（6年）
9月17日（木）～18日（金）	授業参観・懇談会

◆常盤学園高校	
7月26日（日）	第1回オープンスクール（中学生・保護者対象）
8月29日（土）	学園祭一般公開

今号の表紙画

『見上げてごらん夜の星を・宮町』



仙台市が推進する「せんだいE-Action」。それに連動した星を見る会が、昨年は北六小、一昨年は東六小で開催されました。武将隊も登場して、望遠鏡で夏の夜空を眺めました。（かんじー）

何気ない風景に溶け込んだ『まちのこコマ』

Omiyamachi ほっとすぺーす No. 04

宮町路地



この道の先はどこへ続いていったっけなああ、ほらあそこだ
大きな木がある三叉路に続いてるんだよ

宮町の細い路地を撮影した写真に、水彩画の加工をしました。景色に見覚えのある方もいらっしゃるのでは？

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL: 022-723-8000



**西松建設株式会社
北日本支社 様**
仙台市青葉区大町2-8-33
TEL 022-261-8161

資産運用と有効利用のベストパートナー
株式会社マイザ 様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-9830

**協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック 様**

**株式会社
アサヒ建築設計事務所 様**
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-5230

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

歴史コラムを連載していた編集委員の白川祥氏が、本年4月急逝いたしました。2年間にわたり歴史コラムをご愛読頂きありがとうございました。

宮町界隈は常に新しい店が開店しています。前回の記事にもあるように、宮町起業家セッションにも多くの方が参加されました。それに刺激され、私も飲食店開業接客セミナー塾を始めました。皆様のお手伝いになればいいのですが。

木村くみ

仕事上、「まちづくり」に関わる様々な方とお会いする機会があります。その皆さんから「038プレス、充実しているね」とのお話を異口同音にされます。多岐にわたる記事内容、「外」の方々も楽しみにされているようです。

遠藤真吾

宮町は知れば知るほど面白い街だと改めて実感しています。東照宮から宮町通りを見るとまっすぐに通りが延びていることなど、街のあちこちで歴史の気付きがあります。子供達にも宮町の歴史をしっかりと伝え、自らが住む街に誇りが持てるように出来たらと思っています。

和田政宗

編集メンバー

主筆

海老一朗

編集長

千葉富士男

編集委員

遠藤真吾

加藤久枝

鹿野恵美子

加納実

菊池ゆう子

木村くみ

佐藤広行

佐藤正則

佐藤靖

穴戸俊彦

白川律

高橋孝敏

永田良治

針生英一

星瑞枝

三岡昭博

三嶋伸一

水沼幸三

和田政宗

顧問
(50音順)

今泉清二

アドバイザー

内海睦夫

イラスト

かんじー

038 プレス info



ブログ



ホームページ